

「山岡洋一さん追悼シンポジウム」のお知らせ

去る8月20日に急逝された故山岡洋一さんを追悼し、そのご遺志を継承することを目的に、以下の通りシンポジウムを開催します。このシンポジウムは、日本メディア英語学会および関西IT研(通訳翻訳理論および教授法研究会)と合同で開催され、第1部が広島大学・柳瀬陽介さんの講演、第2部が「山岡洋一さん追悼シンポジウム」となります。皆さまお忙しいこととは存じますが、奮ってご参加いただきますよう、お願い申し上げます。なお、参加は無料ですが、定員があるため、勝手ながら申し込み先着順とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

日 時：2011年12月11日(日) 午後2時～5時半

会 場：関西大学(千里山キャンパス) 岩崎記念館4階 多目的ホール

定 員：50名(申し込み先着順)

第1部 (2:00-3:00)

柳瀬 陽介さん(広島大学)

講演演題：「ポスト近代日本の英語教育——両方向の「翻訳」と英語の「知識言語」化について」

第2部 (3:30-5:30)

翻訳家・山岡 洋一さん 追悼シンポジウムテーマ：「翻訳と言語(英語)教育」

[シンポジスト(順不同)]

岩坂 彰さん(翻訳家※)

河原 清志さん(日本メディア英語学会理事)

柳瀬 陽介さん(広島大学)

※ウェブサイト「e翻訳スクエア」にてコラム「岩坂彰の部屋」連載中

(<http://e-honyakusquare.sunflare.com/OceanSite/rooms/article.php?file=1315191966821>)

司会：染谷 泰正(関西大学)

[シンポジウム要旨と概要] 本シンポジウムは、去る8月20日に急逝された翻訳家、山岡洋一さんを追悼し、その生前の業績、とりわけ翻訳教育に関する卓越した言説を振り返りながら、その遺志をどのように受け継いでいくべきかを議論することを目的に開催するものです。山岡さんは、生前、翻訳教育についても活発に発言しておられましたが、遺稿となった「翻訳教育覚書」には、翻訳教育に関する山岡さんのお考えが詳細に述べられています。本シンポジウムでは、まずこの未刊行草稿の内容を簡単にご紹介し、これを受けて3名のシンポジストにそれぞれの「翻訳」および「翻訳教育」に関する意見を、問題提起という形で述べていただきます。その後、後半の1時間ほどをフロアからの質疑および議論の時間に当てたいと考えています。

問い合わせ・参加申し込み：染谷 泰正 (someya@someya-net.com) までメールでお願いします。